

【令和 2 年 9 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 9 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 9 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【製造業及び建設業においては受注・生産量増加により、業況の改善傾向が見受けられる】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-45.9（前月-45.6、前年同月-4.2）で、前月比 0.3pt 悪化した。産業全体では業況 DI は悪化しているが、製造業及び建設業においては生産量・受注量に戻りつつある。一方で他産業においてコロナウイルスの影響により、明るい兆しが見えない状況となっている。

【製造業】

業況は-38.3（前月-43.1、前年同月-14.7）と前月に比べ 4.8pt 好転した。自動車メーカーの生産量の増加により、自動車関連企業や機械金属業に業況改善の傾向が見られ、業況が先月に引き続き好転した。

【建設業】

業況は-35.3（前月-38.3、前年同月 8.8）と前月に比べ 3.0pt 好転した。今まであまりなかった新築物件の受注が増え始めると共にリフォーム需要も見え始めている。しかし、受注の前倒しにより事業を回している状況も見受けられ、先行きに不透明感はある。

【小売業】

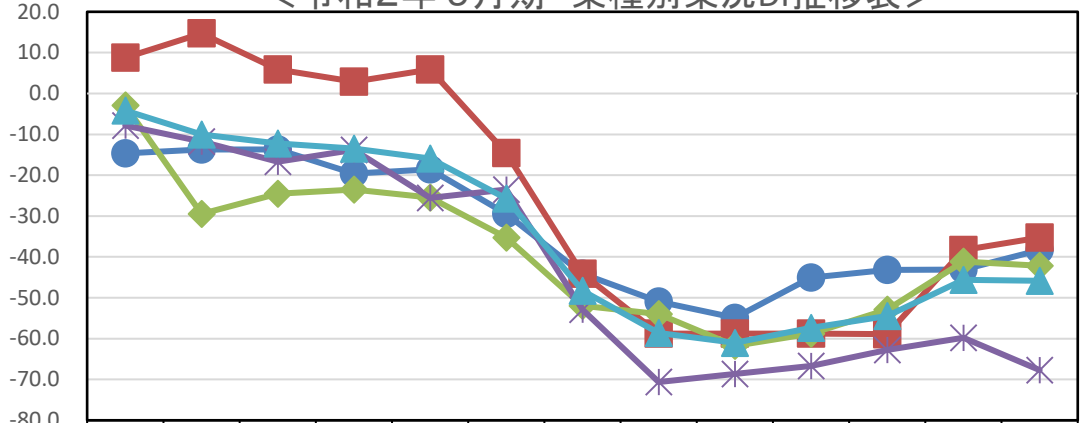
業況は-42.2（前月-41.2、前年同月-2.9）と前月に比べ 1.0pt 悪化した。衣料品・食料品・耐久消費財とすべてにおいて売上減少が確認された。祭（イベント）の中止による影響も衣料品においては売上減少の要因となっている。

【サービス業】

業況は-67.7（前月-59.8、前年同月-7.8）と前月に比べ 7.9pt 悪化した。GoTo キャンペーンにより、集客に繋がってはいるが、個人客が多いことやコロナウイルスに対応する費用負担等もあり、対応に苦慮している。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年9月期 業種別業況DI推移表＞



	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
DI値(製造業)	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1	-38.3
DI値(建設業)	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3	-35.3
DI値(小売業)	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2	-42.2
DI値(サービス業)	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8	-67.7
DI値(全業種平均)	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6	-45.9

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食料品関係は9月に入り、受注減少幅が縮小した。一部自動車部品の取扱い事業所では受注が大幅に増加も見られた。(伊豆)
- ・機械・金属製造業は徐々に仕事が戻りつつある。(富士駿東)
- ・コロナの影響で生産量、勤務時間が減少しているが、徐々に回復しつつある。(中部)
- ・機械・金属製造業において改善の傾向が伺えるが、前年比較でみると回復までには至っていない。(中東遠)
- ・自動車メーカーの生産量が増加し、休業が減少傾向にある。(西遠)

【建設業】

- ・新築物件が少しずつ増えてきている。(伊豆)
- ・公共事業を手掛けている企業は受注の前倒しに努めており、地方自治体の財政悪化が公共事業縮小に繋がる事を不安視している。(富士駿東)
- ・受注は7・8月と比較し回復傾向にあるが、前年同月と比較するとコロナの影響により未だ減少傾向である。(中部)
- ・リフォーム需要が見え始めている。(中東遠)
- ・総合建設業は、現在受注中の仕事はあるが、職別工事業は売上が減少し、コロナウイルスの影響がでてきている。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食料品小売にてコロナ自粛解除により、一部で増加傾向があるため横ばい。(伊豆)
- ・実店舗運営とインターネット通販を行う事業者(薬品販売)は、通販は好調だが実店舗の落ち込みが大きい状況。(富士駿東)
- ・耐久消費財において消費者の購買意欲の減少が見受けられる。(中部)
- ・祭が中止で祭り用品の仕入分を一年在庫で抱えなければならない。(中東遠)
- ・書籍販売にてコロナ禍で理美容や金融機関からの定期購入がストップし売上が減少している。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・GoTo トラベル登録店は、前年並みまでとはいかないが集客に繋がっている。(伊豆)
- ・旅館業において換気機能の改善等、コロナ対応に関する費用負担が出ている。(富士駿東)
- ・理美容における来店サイクルが長くなっている。(中部)
- ・コロナ禍により団体客の利用がほとんどない状況(観光バス会社)。(中東遠)
- ・宿泊者の確認書類をもらう為、受付時間が大きく割かれる。キャンペーンの対応に苦慮している。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年9月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-50	-50	不変
売上	-44.1	-44.1	不変
仕入単価	-5.8	2.9	低下
採算	-50	-50	不変
資金繰り	-47.1	-44.1	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-23.5	好転
売上	-23.5	-23.5	不変
仕入単価	5.9	2.9	上昇
採算	-20.6	-20.5	悪化
資金繰り	-17.7	-17.6	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.1	-55.9	好転
売上	-44.2	-55.9	増加
仕入単価	0	5.9	低下
採算	-35.3	-55.8	好転
資金繰り	-44.1	-55.8	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-35.3	-38.3	好転
売上	-17.6	-29.4	増加
仕入単価	3	-5.8	上昇
採算	-29.4	-38.3	好転
資金繰り	-32.4	-38.3	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-53	-55.9	好転
売上	-52.9	-49.9	減少
仕入単価	-5.9	0	低下
採算	-44.1	-41.2	悪化
資金繰り	-50	-50	不変

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-35.2	-29.4	悪化
売上	-32.3	-14.7	減少
仕入単価	5.9	23.5	低下
採算	-41.2	-41.1	悪化
資金繰り	-35.3	-29.3	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.3	-38.2	悪化
売上	-35.3	-26.5	減少
仕入単価	3	3	不変
採算	-35.3	-32.4	悪化
資金繰り	-38.2	-35.3	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-58.8	悪化
売上	-58.9	-61.7	増加
仕入単価	0.1	-2.9	上昇
採算	-53	-49.9	悪化
資金繰り	-58.9	-58.8	悪化

9.洗濯業

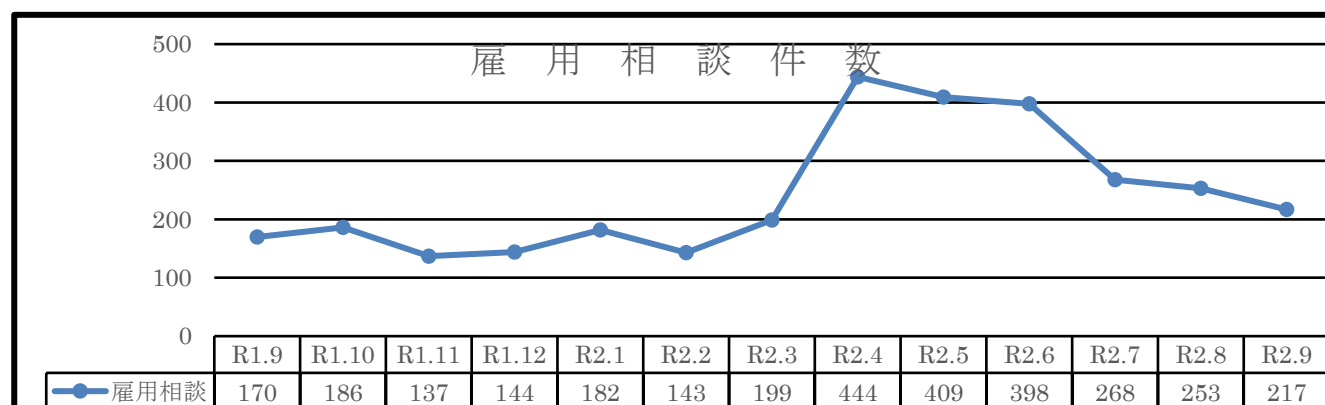
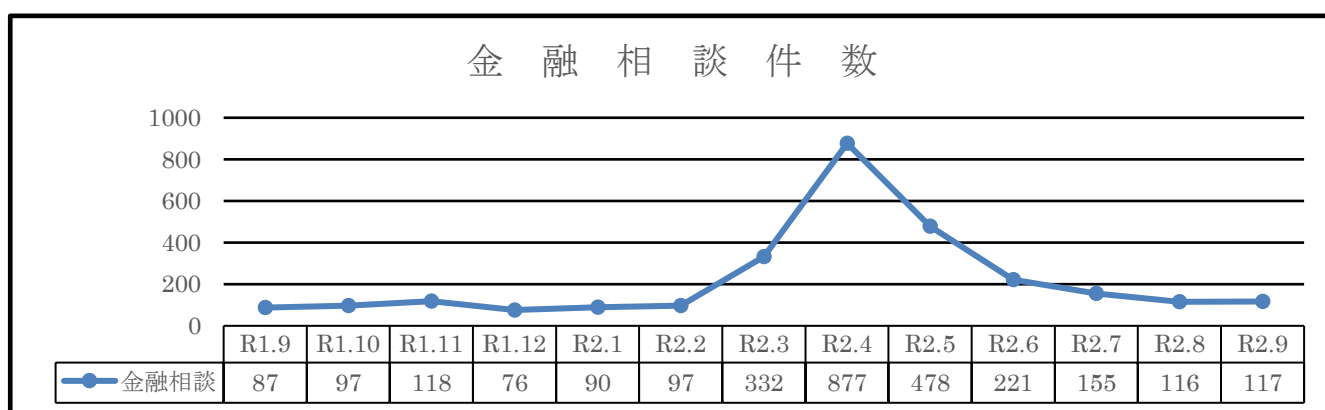
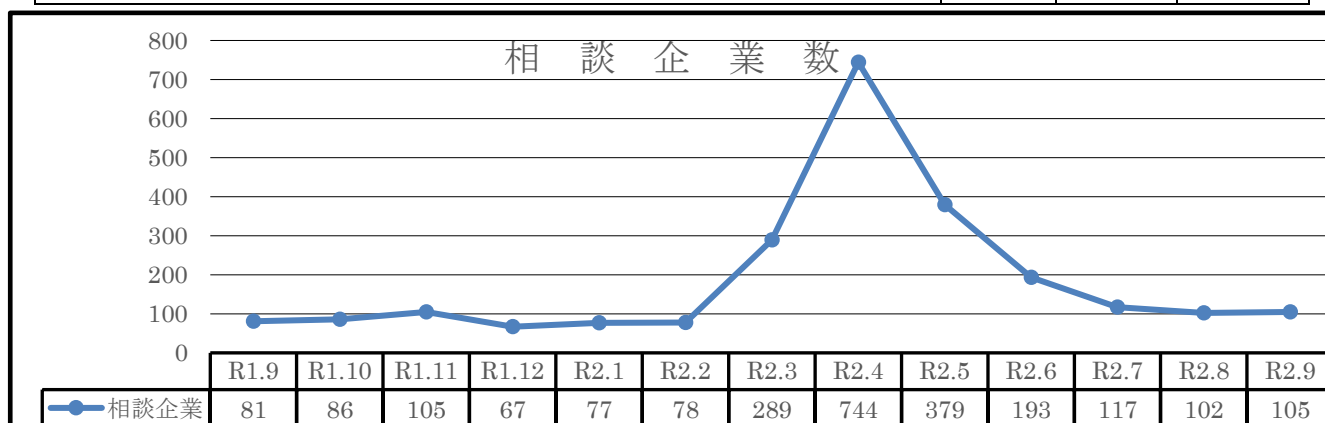
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-70.6	-58.8	悪化
売上	-64.7	-61.7	減少
仕入単価	-2.9	2.9	低下
採算	-47	-47	不変
資金繰り	-55.9	-44.1	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-70.5	-61.8	悪化
売上	-67.7	-67.7	不変
仕入単価	-5.9	0	低下
採算	-53	-53	不変
資金繰り	-50	-58.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年9月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	105	102	3
【金融相談件数】	117	116	1
新規融資(借換えを除く)	65	70	-5
既存債務の借換え	47	38	9
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	4	8	-4
【雇用相談件数】	217	253	-36



【金融相談】

金融相談件数は、117件と前月(116件)に比べ1件増加した。金融相談は横這いに推移しており、相談内容は依然、新型コロナ関連が多い状況が続いている。しかし、コロナ禍からの回復を目指す、前向きな融資を検討している事業者も出始めている。

<経営指導員コメント>

- ・追加融資を申し込むケースがある一方、コロナ禍からの回復を目指すための設備投資などで融資を検討する事業者も見受けられる。(伊豆)
- ・公庫融資の実質無利子化のための利子補給が申込受付開始となり、適宜対応している。(富士駿東)
- ・民間金融機関と商工会と無利息型融資の間口が広がり、商工会への相談件数は減少している。(中部)
- ・公庫コロナ特貸、既存債務の借換、利子補給制度の内容と万遍なくコロナウイルスによる相談がある。(中東遠)
- ・コロナ関連で無利子化に伴う問合せ、相談が増加傾向にある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、217件と前月(253件)に比べ36件減少した。前月に比べ、雇用調整助成金の相談件数は減少傾向となっている。しかし、従業員の入退社の相談が多くなっている。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ関係の退職と思われる離職票が出始めている。また、解雇の相談も多い一方、GoToキャンペーンが始まり、従業員を雇用したいとの相談もある。(伊豆)
- ・雇用調整助成金に関する相談はあるものの、減少傾向となっている。(富士駿東)
- ・雇用調整助成金に関する相談は減少しており、雇用保険手続きが主な相談内容となっている。(中部)
- ・今まで多かった雇用調整助成金の相談は減少。雇入れ通知書等の相談がある。(中東遠)
- ・製造業において受注増加により、休業を見送る会社が増えている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・「みなみいず応援プレミアム付商品券」を10月12日(月)より販売。プレミアム率は100%となっている。(南伊豆町)
- ・11月のイベント「ふるさとまつり」は、コロナ対策をして開催をする準備中。(西伊豆町)
- ・町が経済対策として、10月1日からプレミアム商品券を発行。商工会が取扱店の募集業務を行い181店舗登録があった。(小山町)
- ・9月20日地域交流センター駐車場でゆうすい朝市を開催。12店(食品、野菜が中心)で600人の来場者があった。(清水町)
- ・10月より、市独自のプレミアム付電子商品券「ふじペイ」を開始、プレミアム率30%。(富士市)
- ・ふれあいとくり通り商店街では、ハロウィンイベント中止。(掛川みなみ)
- ・市が中小企業等経営力強化支援事業(2/3上限50万)とコロナ感染拡大防止支援事業費補助金(1/2上限20万)を10月1日より申請受付を開始した。(浅羽町)
- ・【地域に元気を取り戻す!】をテーマに事前告知なしの花火を10月23日(金)18:30~地区内3箇所ですりばり場所をかえて行った。(主催:地域のコミュニティーセンター・企業交流会・商工会)(浅羽町)